

## 目標達成計画

作成日：平成 22年 12月 15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	30	通院という手段に限界があり、利用者・家族が医療的支援の不足・不安を感じている。	通院以外の医療的支援を充実させ、利用者・家族の不安感・不足感を軽減する。	24時間訪問診療所やかかりつけ医の往診、訪問看護など、幅広い支援方法を検討・実施していく。	3ヶ月
2	35	夜間時等、職員が少ない時間帯での急変・事故対応が不十分である。	夜間時等職員が少ない時間帯でも万全の体制で適切な対応ができる。	一般的な急変・事故対応マニュアルのほかに、より具体的なマニュアル(特定の個人に対応したマニュアル)を作成する。 ミーティング時を利用した定期的な勉強会・研修会を実施する。	2ヶ月
3	29	地域からの働きかけ(お祭りや行事ごと)を待っているだけで、こちらから地域に働きかける事がほとんどない。	こちらから地域に働きかけ、協働して行事などができる。	こちらから地域に働きかけることを1年間に2つ以上企画・立案する。 地域の代表者や行政(役場)にこちらから働きかけ、何らかの協働企画を1つ以上実施する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。